

# スポ東だより

東洋大学のスポーツ最新情報をお届け!



## 相撲部、団体戦優勝 11年ぶり3回目の学生日本一

2 013年11月3日(日)、大阪府堺市で行われた第91回全国学生相撲選手権大会で、本学相撲部は第80回大会以来の団体戦優勝を遂げた。11年ぶり3回目の日本一に輝いた瞬間、会場は大歓声に包まれた。

予選を3勝11点とし、4位で優秀8校の決勝トーナメントに進む。初戦の同志社大学に5対0のストレート勝ちを収め、準決勝で昨年の覇者・日本大学と対戦。「日大を倒すために、作戦を練ってきた」

と中出雄真主将(企業法学科4年)の言葉通り接戦に持ち込む。副将を務めた中出主将が勝利し2勝2敗。大将戦では芳賀翔真選手(企業法学科4年)の突き落としが決まり決勝進出を勝ち取った。昨年、1勝もできなかった相手を破る大金星は選手たちの自信となった。

そして迎えた決勝・近畿大学戦。先鋒の大道久司選手(企業法学科3年)が実力を発揮し、二陣に据えた期待の新人・村田亮選手(企業法学科1年)も勝利。1敗の後、優勝が迫った場面で、中出主将は相手を豪快に寄り切った。

2年間、ケガに苦しんだ中出主将は、「最終学年で優勝できて本当に嬉しかっ

た。期待されて入部したが、ケガで出場できない期間は苦しかった。そこでめげずに仲間とともに努力してきた結果が実って最高です」と振り返った。

中出主将ら4年生が卒業し、来年は新たなチームになる。優勝という経験を受け継ぎ、さらなる上を目指して、相撲部の新たな闘いは始まったばかりだ。



写真提供: 東洋大学スポーツ新聞編集部

## 東洋大学生が世界大会で奮闘

2 013年は水泳部、陸上競技部、レスリング部に所属する6人の学生たちが、各競技の世界大会に出場しました。水泳部の萩野公介選手(英語

コミュニケーション学科1年)が銀メダルを2個獲得するなど、それぞれが最高峰を目指して奮闘しました。各選手の記録の一部を紹介します。

萩野選手

西塔選手



大会名	氏名(学科・学年)	種目	結果	記録
第15回世界水泳選手権	萩野 公介(英語コミュニケーション学科1年)	男子400M自由形	2位(銀メダル)	3分44秒82 (日本新記録)
		男子200M自由形	5位	1分45秒94
		男子100M背泳ぎ	7位	53秒93
		男子200M個人メドレー	2位(銀メダル)	1分56秒29
		男子200M背泳ぎ	5位	1分55秒43
		男子400M個人メドレー	5位	4分10秒77
		女子4×100Mフリーリレー	7位	3分39秒45
第14回世界陸上競技選手権	西塔 拓己(経済学科3年)	男子20km競歩	6位 (日本最高位タイ)	1時間22分09秒
		レスリング世界ジュニア選手権	宮原 優(メディアコミュニケーション学科1年)	女子51kg級
レスリング世界ジュニア選手権	鈴木 紅夏(メディアコミュニケーション学科1年)	女子67kg級	3位	—
		レスリング世界選手権	宮原 優(メディアコミュニケーション学科1年)	女子51kg級